

教育長に武藤氏、教育委員に中山氏を選任

任期満了に伴う教育委員会教育長及び教育委員の選任について、教育長に武藤宣夫氏（再任）、教育委員に中山裕子氏（新任）が選任されました。任期は教育長が平成30年4月1日から3年間、教育委員が平成30年4月1日から4年間です。

なお、平成22年4月1日就任以来、教育行政に貢献された前教育委員の満井康江氏は、任期満了により退任となりました。

問い合わせ／教育総務課総務担当（内線3363）

平成30年4月1日付職員人事異動

【部長級】

○秘書室長／中島章男 ○総務部長兼選挙管理委員会事務局長／根岸孝行 ○建設部長／加藤 薫
○教育総務部長／佐藤康夫 ○議会事務局長／吉田隆一
○企画部長／榎本 智 ○市民部長／田口義久
○福祉こども部長兼福祉事務所長／永野和美 ○健康づくり部長／高木啓一 ○川里支所長兼教育総務部生涯学習課川里生涯学習センター館長／春山一雄
○会計管理者／宮澤芳之

【副部長級】

○福祉こども部副部長／田口千恵子 ○建設部副部長／清水 洋 ○吹上支所副支所長兼教育総務部生涯学習課吹上生涯学習センター館長／大澤昌弘 ○監査委員事務局長／笹野一郎 ○秘書室副室長兼秘書課長／佐々木紀演 ○企画部副部長兼総合政策課長／齊藤隆志 ○総務部副部長兼選挙管理委員会事務局勤務／山崎勝利 ○市民部副部長／関口泰清 ○市民部副部長兼市民課長兼パスポートセンター所長兼市民サービスコーナー所長／関根和俊 ○健康づくり部副部長／細野兼弘 ○都市整備部副部長兼建築主事／大塚泰史 ○教育総務部副部長兼教育総務課長／岡田和弘 ○企画部参事兼財政課長／小林宣也 ○企画部参事兼危機管理課長／田島盛明 ○総務部

人事異動（副部長級以上）についてお知らせします。
問い合わせ／職員課（内線2216）

参事兼職員課長／藤崎秀也 ○市民部参事兼やさしさ支援課長／松本笑美子 ○福祉こども部参事兼こども未来課長兼各児童センター所長／岩間則夫
○健康づくり部参事兼国保年金課長／関根則男
○環境経済部参事兼産業・交流拠点推進プロジェクト課長／高坂 清 ○都市整備部参事兼市街地整備課長／清水千之 ○建設部参事兼水道課長／三村 正

【新採用】

○環境経済部副部長／平井敏一

【平成30年3月31日付退職者】

【部長級】

○秘書室長／武井利男 ○企画部長兼川里支所長兼教育総務部生涯学習課川里生涯学習センター館長／望月 栄 ○総務部長兼選挙管理委員会事務局長／福田芳智 ○建設部長／小谷野幹也 ○産業立地推進プロジェクト室長／武藤幸二 ○教育総務部長／田中 潔

【副部長級】

○都市整備部副部長／島田友光 ○市民部参事兼収税対策室対策室長／早川宏人 ○都市整備部参事兼都市計画課長／白井邦昌

日常生活で姿勢を正しく保つことが必要です。歩く時には杖やシルバーカーを押して腰を少しかがめると楽に歩けます。自転車こぎも痛みが起こりにくいので、良い運動になります。手術以外の治療法はリハビリテーション、コルセット、神経ブロックや脊髄の神経の血行を良くする薬などがあります。歩行障害が進行したり、両足に症状が出ている場合など、日常生活に支障がある場合は、改善が困難なことが多く、手術を行うこともあります。最近では、内視鏡を使った低侵襲手術も行われています。

（一般社団法人 鴻巣市医師会）



Q 脊柱管狭窄症について教えてください

A 脊柱管は背骨、椎間板、関節、靭帯などで囲まれた脊髄の神経が通るトンネルです。加齢により背骨が変形したりして神経の通る脊柱管が狭くなると、神経が圧迫を受け、血流が低下するために脊柱管狭窄症が発症します。

背骨を後ろに反らすと脊柱管が狭くなり、前に曲げると広がるので、レントゲン写真で、ある程度診断できますが、より詳しく診断するためにはMRIなどの検査が必要です。

この病気では、長い距離を続けて歩くことができせん。腰痛は軽度で、安静にしている時にはほとんど症状はありませんが、背筋を伸ばして立ったり歩いたりすると、大腿や膝から下にしびれや痛みが出て歩きにくくなります。少し前かがみになったり、座ったりするとしびれや痛みは軽減されます。これを間歇性跛行と呼びます。さらに進行すると、下肢筋力低下や、肛門周囲のほてり、尿の出が悪い、尿漏れなどの症状が出ることもあります。

